



## 新屋小学校の取り組み

# コロナ禍の中で…

新型コロナウイルス感染症による臨時休校で始まった今年度、感染防止をしながらの学校生活でも、子どもたちは元気いっぱい！

新屋小学校  
校長 市川光早  
児童 243人

### 一年 たこあげ、たのしかったよ

一月、生活科の学習で、陸上競技場まで行き、たこあげをしました。たこには、絵の具で動物の絵をかきました。児童からは、「自分がかいた絵が、そらにうかんでいるよううれしかった。」「陸上競技場は広くて、みんなでとぼせて楽しかった。」といった感想がありました。



「天までとどけ、いち に さん!」

### 二年 楽しい休み時間

二年生は外遊びが大好きです。コロナでボール遊びも鬼ごっこも制限される今、音楽で学習した「あんたがたどこさ」や国語で調べた「けん・ぱ」「石けり」に挑戦しました。昔から伝わる楽しい遊びを知りました。ソーシャルディスタンスをとりながら、遊びではつながっています。お家の人のお休みが増えて、一緒に遊んだり、お料理やお菓子を作ったり、コロナでいいこともあるそうです。



「あんたがたどこさ!」

### 三年 秋の旅

十月二十三日、秋の旅で上毛新聞社印刷センターと、ぐんまフラワーパークに行ってきました。当日は、あいにくの天気ですが、フラワーパークでの活動は思うようにできませんでした。印刷センターでは、初めて見る大きな機械やロボットに、子どもたちは目を輝かせていました。



みんな笑顔で「ハイ、チーズ!」

### 四年 楽しかった秋の旅!



「山のゴツゴツがリアルですごい!」

「教育のひろば」とは  
各学校や幼稚園の特色ある取り組みを紹介するコーナーです。編集委員は、教育委員会の広報委員会に所属する各学校や幼稚園の教員です。

## 提言

### 親の背中



甘楽町小中学校  
PTA連合会  
会長 町田 恵一

今年度、甘楽町小中学校PTA連合会の会長を務めさせていただきました。コロナ禍により人の集まりが制限される中で、PTA活動も縮小や中止を余儀なくされ、なかなか思い通りの活動ができませんでしたが、行政や教職員の皆さま、各校PTAや地域の皆さまのご指導とお力添えによりまして役目を果たすことができました。関係の皆さま方には改めて感謝申し上げます。さて、子どもが心身ともに健全に成長していくためには、学校や家庭での教育だけでなく地域との関わりも重要なのではない

いかと考えます。学校やPTAでも、地産品での食育や校外学習、リサイクル資源回収などさまざまな活動を通して地域と関わり、郷土への理解を深め郷土愛を育む機会を設けています。一方、家庭に目をやると、最近では「公」より「個」を重んじる社会になり、我々子育て世代も地域とのつながりや関わりが希薄になっていると感じます。また、町内に限らず全国的にもPTAや地域の委員・役員さん、消防団員などの地域活動への参加者が減少していると聞きます。子は親の背中を見て育つ」といいますが、まずは親世代が地域に関心を持ち積極的に関わっていくことで、子どもたちも地域を身近に感じ、愛着が深まり、ひいては郷土愛の醸成や豊かな情操の育成につながるのではないかと思います。子どもたちのために、この地域を元気で魅力あるふるさととして次世代に残していくことも、親が見せるべき背中の一つなのではないでしょうか。

### 五年 心に残った行事

稲刈り  
稲ゆらす、風に乗る稲の香り、マスクしても感じる 松井娃利  
妙義自然の家  
雨だけど、行けて良かった妙義山、良い思い出、自然の家 岸 七聖  
雨の中の山下り、木々の中びしょぬれだが、自然の家の達成感 松下未羽  
妙義探さく、霧の中。仲間と歩いて、自然の美しさ発見 松井潤晴  
野焼きパン 恐怖の山下り。貴重な体験した自然の家 小菅 凜



「雨の中でも気持ちいい!」

### 六年 堂々とした演奏を披露!



心を一につに 響け高らかに

例年は四年生以上が参加する鼓笛隊パレードですが、今年はコロナ禍の中、六年生だけの楽器演奏になりました。小編成なので不安もありましたが、暑さの中、汗を流しながら練習に励みました。秋晴れの運動会当日、思い切り楽器を鳴らしたり、演技したりしました。みんなの気持が一つになり、素敵な演奏になりました。